

毒きのこによる食中毒を防ぐには！

①知っているきのこしか採らない、食べない

名人と呼ばれる人たちは、知らないきのこには手をだしません。

②毒きのこは確実に覚える

知られている毒きのこはわずか数十種類しかありませんので、特徴や発生地などを確実に覚えましょう。特にテングタケ科のきのこは猛毒で、致死率が高いので、ツバ、ツボのあるきのこは食べないのが賢明です。



ドクツルタケ(猛毒)

③まちがえやすい毒きのこの特徴を覚える

特にまちがえやすいきのこについては、熟練者と同行して実物を図鑑等と見比べながらその特徴を教わることが大切です。

④迷信俗説を絶対に信用しない

きのこに関する迷信俗説は絶対信用してはいけません。

~~『地味な色のきのこは食べられる』
『縦に避けるきのこは食べられる』
『なすと一緒に煮れば食べられる』
『塩蔵すればどんなきのこも食べられる』
『毒きのこは銀のスプーンを入れて煮ると黒くなる』~~

⑤食用きのこでも注意が必要

食用きのこの中には、食べ過ぎると下痢等の症状をおこす消化の悪いきのこ〔ナラタケ(別名オリミキ)〕もあります。また、古くなったり、傷んだきのこでもお腹の調子が悪くなる場合もありますので、食用きのこでも新鮮なものを適度に食べるようにしましょう。



表紙の答え

A. すべて“毒きのこ”です。

- ①カエントケ、②テングタケ、③カキシメジ、④オオワライタケ、⑤シャグマアミガサタケ、⑥ニセクロハツ

「食べられるかな？」と判断に迷った場合は、「**食べない**」ことが食中毒を防ぐ上で大切です。また、譲り受けたきのこでも安心せず、食用と確実に判断できない場合は、「**食べない**」ようにしましょう。

きのこ狩りの心構え

知らないきのこは
採らない
食べない
人にあげない

■お問い合わせは
各区保健福祉センター衛生課へ

仙台市青葉区保健福祉センター衛生課
☎225-7211 内線6721~6726

仙台市宮城野区保健福祉センター衛生課
☎291-2111 内線6721~6723

仙台市若林区保健福祉センター衛生課
☎282-1111 内線6721~6723

仙台市太白区保健福祉センター衛生課
☎247-1111 内線6721~6723

仙台市泉区保健福祉センター衛生課
☎372-3111 内線6721~6723

写真提供・解説協力 仙台キノコ同好会

【仙台キノコ同好会】
東北大学の「科学談話会」が母体となって、昭和42年に設立したキノコの趣味の会。自然に親しみながら、毒キノコによる食中毒防止やキノコに関する普及啓発を目的としたきのこ展の開催などの活動を行っている。

ホームページ <http://sendaikinoko.web.fc2.com/>

消費者のための
食品衛生シリーズ

毒きのこによる食中毒を防ぎましょう



ベニテングタケ(毒)

Q. 次のうち“食べられる”きのこはどれですか。



答えは、裏表紙をご覧ください。



仙台市及び宮城県内の一部地域で、野生のきのこから放射性物質が検出されています。(令和2年6月現在)

仙台市及び宮城県内の一部地域の野生きのこに対して国から出荷制限指示が出されています。当該地域で「野生きのこ」を採取した場合には出荷・販売をしないようをお願いいたします。

最新の情報は、最寄りの自治体にお問い合わせ下さい。

秋の訪れとともに、山間が色づき始めると、待ちに待ったきのこ狩りの季節到来です。自然を満喫し、採る喜び、食べる喜びを味わうことができるきのこ狩りを楽しみにしている市民の方も多いのではないのでしょうか。しかし、食べられるきのこ毒きのこを見分けることはとても難しく、毒きのこによる食中毒は毎年あとを絶ちません。

食用のきのこを確実に判断できないきのこは、絶対に採らない！食べない！人にあげない！ようにしましょう。



ハタケシメジ(食)

◆仙台市内でも令和元年にツキヨタケによる食中毒が2件発生しています。

「ツキヨタケ」による食中毒事例

- 令和元年10月、自分で採取したキノコを食べた3名が、吐き気、嘔吐を発症しました。
- 令和元年11月、知人から譲り受けたキノコを調理して食べた1名が、嘔吐、下痢等を発症しました。

◆キノコを原因とする食中毒の発生状況

厚生労働省
「毒キノコによる食中毒に注意しましょう」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kinoko/index.html



毒きのこを食べてしまったときは！

①一刻も早く吐き出すこと

できるだけ早く吐き出し、応急処置をとることが大切です。

②直ちに医師の治療を受けること

残っているきのこや吐物も持って行きましょう。食べたきのこがわかれば適切な治療ができます。

組織破壊型 ドクツルタケ等
神経症状型 ワライタケ等
消化器系症状型 ツキヨタケ、ニガクリタケ等

③ガマンは禁物

1ヶ月ほどかかって進行するおそろしい毒きのこ(ドクササコ)もありますので、症状が出た場合は必ず病院に行きましょう。

